

～2018年秋の1日 福岡で海の未来を語る～

公開ワークショップ「持続可能な海洋管理の実現に向けて」+

ミニ国際シンポジウム「対馬暖流域海洋保護区ネットワーク形成にむけて」

平成30年10月12日 金

WS 10:00-11:40 シンポ 13:00-17:00

会場／九州大学西新プラザ(福岡市早良区西新2-16-23)

主催／九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室

共催／(独)環境再生保全機構 環境研究総合推進費 S-13 テーマ4 公益財団法人 国際エメックスセンター

持続可能な海洋管理について、里海、生態系サービス、沿岸域管理の先端的な研究者とともに実現化の可能性、課題の発見と解決、継続など具体的な議論をワークショップ形式で行う。

また、「海洋保護区」は、持続可能な社会の実現や生物多様性の保全と利用のための空間管理手法である。生物多様性条約の「愛知目標」では、2020年までに全海域の10%を海洋保護区にする数値目標があり、世界各国の取り組みが加速している。

シンポジウムでは、「対馬暖流域海洋保護区ネットワーク」形成にむけての議論を行う。対馬暖流は、北東アジアの海洋環境に重要な役割を果たしている。近年、九州北西部や対馬海峡周辺海域では、宗像沖ノ島と周辺の世界遺産登録、韓国の釜山での研究拠点形成など、国際的にも環境保全や学術研究の進展が期待される状況にある。

この対馬暖流を地域が共有する自然資本と捉える沿岸のネットワークを考える。各々の沿岸地域が海洋保護を努力することで、海流でつながった沿岸全体の環境保全のレベルが向上する。そのためには拠点地域の人的ネットワーク的が重要である。本シンポジウムでは、沿岸域管理の研究者と九州北西部で海の調査や環境政策形成への参加に活躍している地方自治体、市民団体などが語り合い、地域の現場に即した実現方策をさぐる。

〈午前 公開ワークショップ〉

持続可能な海洋管理の実現にむけて

10:00 開会挨拶、趣旨説明

10:05 講演と討議

「里海」と持続可能な海洋管理 柳 哲雄
九州大学名誉教授・国際エメックスセンター特別研究員

生態系サービス 仲上 健一 立命館大学政策科学部特任教授

沿岸域管理 日高 健 近畿大学産業理工学部教授

11:10-11:40 参加者との討議

〈午後 国際シンポジウム〉

対馬暖流域海洋保護区ネットワーク形成にむけて

13:00-13:20 趣旨説明 清野聡子(九州大学大学院工学研究院)

第1部 対馬海峡での国際的な海洋の動き

13:20-13:50 特別講演 韓国の新海洋時代 安 熙道
韓国海洋科学技術院KIOST 名誉研究委員、
PIANC-Korea 理事長

13:50-14:20 特別講演 沖ノ島世界遺産登録への歩み
大高広和 福岡県世界遺産室主任技師

14:20-14:30 質疑応答

第2部 海を守る地域の新たな息吹

14:40-15:10 報告 五島市・五島自然塾

15:10-15:40 報告 対馬市・対馬CAPPA*

15:40-16:10 報告 宗像市・宗像国際環境会議実行委員会

第3部 研究者からの呼応

16:10-16:40 柳 哲雄 国際エメックスセンター
仲上 健一 立命館大学

日高 健 近畿大学産業理工学部

16:40-16:55 総合討論 講演者、参加者

16:55-17:00 閉会挨拶

●環境省環境研究推進費S-13

「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」(柳哲雄九州大学名誉教授代表)

<https://www.emecs.or.jp/s-13/outline>、

サブテーマ4「沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示」(仲上健一教授代表)の研究を中心に企画

●講演タイトルは仮題 ※講演打診中

会場／九州大学西新プラザ(<http://nishijinplaza.kyushu-u.ac.jp/>)

〒814-0002 福岡市早良区西新2-16-23 TEL 092-831-8104

事前申込URL:<https://business.form-mailer.jp/fms/dcfaf7ef94050>

QRコード

